

## あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について

## 基本目標1 産業振興による仕事づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R02)	実績(R02)	達成率(%)
製造品付加価値額(従業員4人以上の事業所) 令和6年に 6,724億円	5,772 (H29)	6,162	未判明 (R4.8判明)	—
農業産出額 令和6年度に 1,971億円	1,843	1,862	未判明 (R3.12判明)	—
延べ宿泊者数 令和6年度に 4,100千人泊	3,505	3,700	2,546	68.8

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
4	16	14

## (3)推進状況

○ 製造品付加価値額の令和2年実績値はまだ公表されていないが、最新の統計である令和元年速報値では4,934億円(前年比△1.9%)であり、これは2年目標値の80.1%の水準となっている。元年は米中貿易摩擦等の影響を受けたものと思われるが、2年も新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの産業に影響が生じており、2年下半期からは電子部品や機械金属等一部の産業で回復傾向にあったものの、目標達成には至らない見込みである。

○ 農業分野については、これまで、収益性の高い「複合型生産構造への転換」に向けた取組を大胆かつ集中的に実施し、えだまめ、ねぎ、しいたけ等の生産が拡大したことに加え、秋田牛のブランド化の進展等により、農業産出額の伸び率が全国トップクラスを維持するなど着実に成果が現れてきている。

○ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントや催事が中止となるなど、全国的に観光客が減少している。  
○ 減少した県内の観光消費の回復に向けて、秋田県プレミアム宿泊券を55万枚発行したほか、旅行商品437本に対して造成支援を行い、県内流動を促進する取組を行った結果、令和2年4月に前年比3割までに落ち込んだ宿泊者数は年間実績(令和2年)で前年比7割程度まで回復し、一定の事業効果があった。  
○ 併せて、コロナ禍においても取組可能な、観光コンテンツの充実に向けた取組や、観光情報の発信力強化、オンラインセミナーの開催、新たな生活様式に対応する宿泊施設の整備促進などを実施し、アフターコロナを見据えた態勢の強化を図った。

## 基本目標2 新しい人の流れづくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R02)	実績(R02)	達成率(%)
本県への移住者数 令和6年度に 700人	459	500	576	115.2
Aターン就職者数 令和6年度に 1,300人	1,134	1,150	1,120	97.4

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
3	5	3

## (3)推進状況

○ 本県への移住者数については、首都圏相談窓口におけるきめ細かな相談・支援対応や、市町村の取組の進展等により年々増加しており、令和2年度は対前年度82人増(+16.6%)となり、目標を上回った。

○ Aターン就職者数については、就職イベントのオンライン開催等により、コロナ禍にあってもマッチング機会を確保したものの、就職面接に有効な、対面型のAターンフェア(6回)が中止となったこと等により、目標には届かなかった。

○ 若者の県内定着の促進について、「高校生の県内就職率」の実績は未判明であるが、速報値では72.5%であり、目標(R2目標:72.0)を上回る見込みとなっているほか、「県内大学生等の県内就職率」は前年度より上昇し、46.7%であったものの、目標(R2目標:48.0)には届かなかった。

## 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R02)	実績(R02)	達成率(%)
婚姻率 令和6年に 3.1	3.1	3.1	2.8	90.3
合計特殊出生率 令和6年に 1.54	1.33	1.37	1.32	96.4
女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数 (従業員数300人以下の企業) 令和6年度に 540社	174	300	335	111.7

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
9	7	2

## (3)推進状況

○ 婚姻率は減少傾向が続き、前年度実績値(3.3)を下回り、21年連続で全国最下位となる見込みである。

○ 合計特殊出生率は、1.32となっており、横ばい傾向となっている。

○ 「あきた女性活躍・両立支援センター」の女性活躍・両立支援推進員3名による企業訪問(1,588社)を通じて一般事業主行動計画の策定について普及啓発を強化した結果、女性活躍に対する企業の理解と関心は深まり、令和2年度の実績値は目標値を上回った。

○ あきた結婚支援センターへの成婚報告者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対前年度で大幅に減少し(R1:162人 → R2:103人(目標 225人))、目標を達成することができなかった。

○ 子育て世代包括支援センターは令和2年度中に全市町村に設置され、目標を達成した。

## 基本目標4 新たな時代に対応した地域づくり・人づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R02)	実績(R02)	達成率(%)
日常生活に必要なサービス機能が不十分と感じている人の割合 令和6年度に 40%	48.7	45.8	43.5	105.3
社会活動・地域活動に参加した人の割合 令和6年度に 70.0%	62.1	64.7	57.3	88.6

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
10	7	4

## (3)推進状況

○ 「日常生活に必要なサービス機能が不十分と感じている人の割合」については、平成30年度の48.7%から5.2ポイント減少し、目標を達成した。

○ 「社会活動・地域活動に参加した人の割合」については平成30年度の62.1%から4.8ポイント減少し、目標には届かなかった。

○ 「元気ムラ新規登録地域数」については、新型コロナウイルスの影響により、新たな掘り起こしとなる集落への訪問数が減少したため、目標達成には至らなかった。

○ 地域と学校が連携・協働したコミュニティづくりについては、これまで地域学校協働本部が整備されていなかった市町村に本部機能が備わったり、学校運営協議会制度を一部の学校にしか導入していなかった市町村で全校導入が実現したりと、地域と学校の連携・協働体制が確実に構築されている。